

公表:令和 2年 4月 1日

事業所名 パプリカ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○				活動内容に合わせてス ペースを確保している。子 ども実態に合わせて工夫し ている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○			基準定員は満たしている が、十分な支援を行うため に職員を募集している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか			○		多様化している児童全てに は対応しているとは言えな いが、極力児童がパニック を起こさないような配慮をし ている。今後もより良い環 境作りに努めていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			毎朝のミーティングや児童 帰宅後の引き継等から問 題解決、業務改善に努めて いる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○				保護者アンケートを実施し 今後の運営に役立てるよう 努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○				ホームページにて公開して いる。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			○		今後実施していく予定。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○				積極的に研修に参加し、研 修報告を通して全員で共有 し実践している。
適切な支 援の提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○				送迎時の対話や希望があ れば面談等を行い保護者 のニーズに合わせて作成し ている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○				アセスメントツールを利用す ると共に保護者から検査結 果を頂いている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				ミーティングや会議等でアイ ディアを出し合い立案し、紙 面化する事でチームで対応 している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している か	○				月間予定表を作成し毎日変 化のあるプログラムを設定 している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○				活動できる時間に合わせて プログラムの内容を検討し たり、課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	○				個別活動と集団活動の機 会を設けて計画に沿って実 践している。集団活動にお いても状況に合わせてい る。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか	○				毎朝、業務時間前にミー ティングを行い、役割分担 の確認を行っている。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				送迎終了時に引継ぎを行い、その日の支援中において気になったことや子どもの状況、家族等とのやり取りについて共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				支援計画に沿って支援内容の記録をとり、都度確認、検証、改善できるよう努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○			定期的に評価を行い、支援計画の見直しに努めている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				外部研修、内部研修を通し基本活動の理解を深め、より良い支援を目指している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○		まだそういった機会がないので今後は子どもの実態を把握している職員が参加していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				学校との連携をとると共に保護者からも情報を共有していただき情報交換、連絡、確認を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		現在医療的ケアが必要な子どもの通所はないが、今後必要な利用者の通所が見込まれる場合は適宜対応していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				必要に応じ、保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		これまで障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者様がいなかった行っていないが、必要に応じて情報共有と相互理解に努めている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		まだ研修は受けていないため、今後行っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			機会としてはプログラムの際には設けていないが、今後プログラム化していきたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○			今後案内がされれば参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時や連絡ノート等で共通理解を図っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			保護者とのやりとりの中で必要時、対応策を考え支援している。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				丁寧にわかりやすく説明するように心がけている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				送迎時や連絡ノートを通して相談を受け、対応している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				保護者同士のつながりや交流をもてるようにしている。今後その機会が増えるように努める。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				相談や苦情があった場合には、迅速かつ丁寧にに対応するよう心掛け、職員に内容を周知、共有している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				月間予定表と活動内容の概要をプリントで配布している。また、活動の様子などをホームページで公開している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				個別ファイルを施錠したロッカーにて保管し個人情報の取り扱いに関しては注意を徹底している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				障がいの特性に配慮し、視覚化したりなどの配慮をしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				内覧会、見学会などを実施し、地域の方に事業所を見てもらっている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				マニュアルを策定し、事業所内に提示している。また、保護者には必要に応じて説明している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				開所して日が浅いため実施していないが計画、実施していく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				研修に参加し、その内容をフィードバックする事で適切に対応できるよう努めている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				重要事項説明書に記載し説明はしているが、実際に身体拘束を行った事例はない。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				事前に確認し、徹底して対応している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				書類を整理しながらまとめている段階であるが、共有ができるよう準備している。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。